

# 九州の再生可能エネルギー

## 再生可能エネルギー(太陽電池・水素エネルギー・燃料電池)

太陽電池や水素エネルギー・燃料電池などの再生可能エネルギーは、地球環境問題への対応やエネルギーの安定供給の確保に役立つだけでなく、地域における新規産業・雇用の創出等への貢献も期待されています。

### ◇太陽電池

日本は、太陽光発電の導入成長率が23%で、累積導入量世界第3位(シェア13%)を維持しています。また、九州地域には次世代型の太陽電池製造工場の立地が進んでいます。

九州経済産業局では、新エネルギー導入に関する普及・啓発活動や、地場企業と次世代太陽電池製造企業との交流活動などを通じて、太陽電池の市場拡大、用途拡大等を促すなど、技術開発、普及啓発、市場拡大の各段階に応じた支援をしています。

特に、次の構想の実現に向け取り組んでいます。

- ・「全国No1メガソーラー地域構想」等の実現
- ・太陽光発電産業群「ソーラークラスター」の形成
- ・「太陽電池評価拠点構想」の実現
- ・「離島グリーンエネルギー構想」の実現

### ◇水素エネルギー・燃料電池

水素エネルギー・燃料電池は、研究・実証試験段階にあるものの、環境負荷低減や省エネルギー効果が大いに期待できる次世代エネルギーです。

九州経済産業局では、「水素材料先端科学研究センター(愛称:HYDROGENIUS)」(2006年7月、九州大学伊都キャンパス内に設立)を中心として、世界的にも最先端の水素利用研究開発拠点の形成の支援に取り組んでいます。また、燃料電池・水素関連分野に関する研究開発の促進、「福岡水素エネルギー戦略会議」等の活動(「水素タウン」「水素ハイウェイ」等)支援、水素エネルギー社会に向けた普及啓発等に取り組んでいます。

# 九州の再生可能エネルギー

## 水素エネルギー研究拠点

産総研「水素材料先端科学研究センター」  
九州大学「水素利用研究技術センター」  
公益財団法人水素エネルギー製品研究試験センター

木質バイオマス発電  
出力: 12,000kW

八丁原・大岳地熱発電所  
出力: 110,000kW(八丁原)  
12,500kW(大岳)

長島風力発電所  
出力: 50,400kW  
(2,400kW × 21基)

鶏糞焼却  
バイオマス発電  
出力: 11,350kW

## 太陽電池関連メーカー集積

- ①YOCASOL(大牟田市)
- ②三菱重工業長崎造船所(長崎県諫早市)
- ③富士電機システムズ(熊本県南関町)
- ④ホンダソルテック(熊本県大津町)
- ⑤ソーラーフロンティア(宮崎市など)

(参考:九州は家庭用太陽光発電システム  
普及率 全国平均の約1.65倍で日本一)

## 九州電力「離島におけるマイクログリッド実証事業」

鹿児島県 竹島、黒島、トカラ列島〔中之島、諏訪之瀬島、小宝島、宝島〕

## ★ 6つの次世代エネルギーパーク

北九州次世代エネルギーパーク

大牟田市次世代エネルギーパーク

玄海町次世代エネルギーパーク

長崎次世代エネルギーパーク

くまもと次世代エネルギーパーク

大分県次世代エネルギーパーク

